

魅力伝播案内並びに報告

【今年の入会者数10名
正会員数 71名】

青年会議所（JC）とは、「明るい豊かな社会」の実現を理想とし「奉仕、修練、友情」の三信条として様々な事業や運動を行っている二十歳から四十歳までの青年経済人の集まりです。
メンバーはこの限られた時間の中で次代のリーダーを志す責任と自覚を持ち、地域の為に、そして自己の成長の為に日々活動しています。乙訓の未来を創る為に夢を語り合い、誇りを繋いでいく仲間として、共に活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。
ご興味のある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―一二三〇）までご連絡下さい。お待ちしております。



JC 説明会

10月3日（月）、向日市商工会館にて、魅力伝播委員会が担当する第9回JC説明会が開催され、1名の入会候補者の方々に来て頂きました。人数も少なかった為メンバー一人ひとりも自己紹介し、乙訓青年会議所の活動内容や想いを伝え、終始穏やかな流れの雰囲気の中で行われました。乙訓青年会議所の魅力が伝わり、志を持った仲間が1人でも増える事を祈願致します。お気軽に

2016年度から2017年度へ

理事長対談

池宮委員長「松宮理事長、本年度を振り返っていかかでしたか。」
松宮理事長「去年の今頃に私自身も理事長所信の承認を得て、スタートを切ろうとしていました。まだ、本年度は終わっていませんが、自分が



公益社団法人乙訓青年会議所
第三十八代理事長予定者
足立 雅也

公益社団法人乙訓青年会議所
第三十七代理事長
松宮 吾朗

掲げた所信に基づいて各委員会が一生涯懸命具現化してくれている事から感謝致します。各委員会が試行錯誤し、遂行している姿に本当に感激しますし、入会当初は理事長をさせて貰うとは思っていませんでした。

が、今は心からやって良かったと思っております。そして、一年を振り返ると言いたい事は沢山ありますが、今は各委員会がいきいきと活動している姿を見る事が一番嬉しいです。」

今月の乙訓のイベント

長岡京市ガラシャ祭り



平成4年、長岡京市の歴史遺産の一つである、勝竜寺城跡を整備し、市民が憩える勝竜寺公園が完成しました。その完成を記念して、市民の方から今から約400年前に織田信長のすすめにより、細川氏に嫁いできた明智光秀の娘「玉」の輿入れの様子を再現する行列巡行を開催しようという提案がありました。それが以後、「長岡京ガラシャ祭り」として、広く市民に親しまれています

開催日時 11月13日「行列巡行 楽市楽座」

詳細は <http://nagaokakyo-garasha.jp/index.html> をご覧ください。

お問い合わせ 【行列巡行】ガラシャ祭実行委員会事務局（総務課内）
TEL/FAX:075-959-1299

乙訓JCのホームページのQRコードはこちら



次回例会案内

【対外事業】
11月オープン例会

11月オープン例会【対外事業】
2016年11月10日（木）開催
19:00～（受付開始18:30）
会場：長岡京市中央生涯学習センター 3階メインホール

講師：磯野 勝氏
講演テーマ：影響力「周囲に影響を与えるリーダーになる為に」
昨今、夢を描いて目標を高く掲げ、挑戦をしようとする若者は減少している傾向にあり、地域に貢献出来るリーダーが減少しています。我々が住まう地域を発展させ豊かな社会を築いていく為には、地域に貢献出来るリーダーの育成する一助として影響力を学ぶ事を目的に開催します。
お問い合わせは、乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）まで



31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	11月
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	日	
	まちづくり委員会		魅力伝播委員会		第十一回乙訓ふるさとふれあい駅伝		総務財政委員会	資質向上委員会	青少年育成委員会	JC運動発信委員会				第十一回理事会		青松会（予定）					十一月オープン例会			乙訓JC説明会	文化少年団		第十一回正副理事長会議		渉外交流委員会	乙訓JC	
																															行政・他団体

池宮委員長「有難うございます。二〇一七年度、足立理事長予定者は、どの様な想いで活動されるか。」
足立理事長予定者「二〇一七年度に入会してから現在に至るまでの集大成が二〇一七年度、私自身が掲げた理事長所信やスローガンに集約されています。また、多くの先輩諸兄姉や、一つ一つの出会いの中で得た多くの気づきや学びが現在の私の自身の価値観になっていきますし、乙訓青年会議所が築いてこられた所はしっかりと引き継いでいきます。人間関係に於いても、「ええもんはええ」「あかんもんはあかん」と相手の事を思いやり、愛情を持って本音でぶつかり合いながら共に活動していく事で、一生の友になっていくと思えます。そして、一人ひとりが地域のリーダーとして資質を向上し、これから先も更に良い団体、カッコいい団体でありたいと思っています。その為に、二〇一六年度最後までやり通し松宮理事長の想いを引き継ぎ、二〇一七年度素晴らしいスタートを切りたいと思っています。」
池宮委員長「有難うございます。それでは、松宮理事長のこれからの乙訓青年会議所の方向性と二〇一七年度期待する事を教えてください。」

松宮理事長「足立理事長予定者が先日所信表明された通り『直志響心』の想いで遂行していかれると思います。また、私達は先輩諸兄姉の礎のもと活動させて頂いており、その部分を引き継ぎ、より良いものにしていく事が乙訓の未来を創っていく事に繋がると思います。そして、乙訓青年会議所が更に発展し、メンバーがいきいきと活動出来る組織にして頂きたいです。」
池宮委員長「有難うございます。最後に、足立理事長予定者から二〇一七年度の意気込みを教えてください。」
足立理事長予定者「二〇一七年度のスローガン『直志響心』先駆けよう、次代を切り拓く青年であれが私の想いの全てです。どんな困難にもぶれない、真っ直ぐな心で後悔しない生き方をしなければいけないと思えますし、その為には、目の前の事にひたむきに真っ直ぐに真剣に取り組む事が大切だと思います。1つの事に本気で取り組んでいる人の姿に感動しない人、心を動かされなかった人はいないと思います。二〇一七年度、一人ひとりがより輝きかっこいいリーダーが沢山いる組織にしていきたいと思っています。」

- CONTENTS
- 2 10月例会
 - 3 全国大会 広島大会
 - 3 地域応援隊



次年度の出向意欲に繋げる為に

十月例会

十月十三日(木)、長岡京市中央生涯学習センターにて、JIC運動発信委員会担当の十月例会が開催されました。メンバー全員が出向の意義を理解し、次年度の出向意欲を高める例会として開催されました。

第一部では『青年会議所に於ける出向とは何か?』をテーマに、出向に於ける認識を共有して頂いた後、出向の原点となる日本青年会議所が出来た歴史や日本青年会議所、地区、ブロックとLOMとの関係性、また、出向経験のあるメンバーからの出向の魅力やスライド資料を用いて発表されました。

第二部では、公益社団法人日本青年会議所第五十一代会頭、松本

秀作様を講師にお招きし『志高く!』その一歩がLOMの活性化に繋がる』をテーマに、ご自身の経験やかけがえのない友人から得たJIC活動や出向の意義についてご講演頂き、メンバーは真剣な眼差しで聞いておられました。

また、橋本光夫先輩が友人として

駆け付けて頂き、一般社団法人枚方青年会議所からもたくさんさんのメンバーがオプザーブされました。この十月例会を通して、出向でしか得る事の出来ない気づきや学びが自己成長となり、その経験をLOMに反映させる事で乙訓青年会議所が更に活性化し、強固な組織へと繋がる事を理解して頂くことが出来、次年度出向と向き合って頂ける実りある一日となりました。



全国大会 広島大会 大会式典・卒業式

十月八日



(土)、旧広島市民球場跡にて、第六十五回全国大会広島大会式典・卒業式が開催されました。

多くの来賓の方や、全国各地の青年会議所のメンバーが集い、華やかなオープニングから始まりました。公益社団法人日本青年会議所第六十五代会頭の山本樹青君から一年間の活動の総括を熱く述べられ、その後第六十六代会頭予定者の青木照護君から二〇一七年度に向けての想いを述べられました。そして、次年度の大会

第一回臨時総会

九月二十八日(水)、長岡京市立産業文化会館にて、総務財政委員会の設えによる第一回臨時総会が開催されました。

二〇一七年度公益社団法人乙訓青年会議所役員選任(案)に関する件が審議上程されました。その後、二〇一七年度第三十八代理事長予定者の足立理事長予定者から今までの活動に向けての想いを発表されました。今後の活動に向けて更にメンバーが一丸となる貴重な一日となりました。



大物産展+激辛ワールドフェス

九月二十二日(木・祝)、京都向日町競輪場にて、大物産展+激辛ワールドフェスが開催されました。

「竹の里・乙訓」と「もうひとつの京都」を結ぶをテーマに、向日市激辛商店街をはじめ世界各地の激辛食品がブース出店され、公益社団法人乙訓青年会議所は参加協力させて頂きました。激辛音楽団やダンスステージ、書道パフォーマンス

等様々なイベントが披露され、乙訓青年会議所PRタイムでは、「絶叫宣言」を行い、会場は大いに盛り上がりました。また、AKB48がゲストで盛大なコンサートが行われました。結果発表では、向日市にある京さぬきのおうどん『はなこ』が見事グランプリを受賞されました。このイベントを通して、向日市の

地域の活性化と共に、乙訓地域である向日市の発信に多に繋がる機会となりました。



地域応援隊



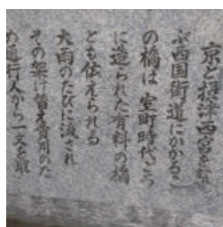
自衛隊を正しく理解して頂く為に

11. 大川猛さん

現在、京都府防衛協会青年部会長の大川猛様は、乙訓青年会議所の先輩でもあり、ご卒業後も青年会議所での学びを活かして活躍されています。活動内容は、自衛隊を正しく理解し、国の平和と防衛について府民の視点で考える為に、勉強会やシンポジウムを実施されており、自衛隊の施設に於いて見学・体験等も開催されています。また、異業種交流も盛んで、学生から55歳までが集う青年部です。研修委員会・広報総務委員会・シンポジウム委員会・絆委員会の四つの委員会で構成されており、会員も随時募集されているのでご興味のある方は、是非一度覗いて頂ければと思います。

我が国初の有料橋「一文橋」

先月紹介した西国街道沿いで、長岡京市と向日市の間を流れる小畑川に架かる橋の欄干には巨大な一文銭が飾られています。この橋は江戸時代に架けられた橋で、日本で最初の有料橋と言われています。小畑川は今でこそ静かな流れですが、当時は雨が續くと何度か橋が押し流される暴れ川でした。その橋の修理費用に充てる為に通行料として一文を取るようにになりました。一文は現代の12円程度ですが、今より貨幣が流通していなかった為



に、一文を借しんで川を泳いで渡る者もいました。橋守の中には貧しい者に対しては通行料を見逃す人情家もいたそうです。

長岡京竹あそび連絡協議会

竹は乙訓地域の名産品であり、昔から食材や道具として様々な用途で親しまれてきました。しかし、近年竹材で作られていた道具はプラスチックなどに代わり、食材も外国産の物が輸入され、年々竹の利用が減少して竹林が放置される土地が増加しました。その放置竹林に取り組むボランティア団体が長岡京市内には多く存在しますが、その思いを共有する団体が集まったのが「長岡京竹あそび」です。2009年に「竹でつなぐ・つながる・まちづくり」を



キャッチフレーズに活動が始まり、今では放置竹林整備団体以外に運営に加わって広がりを見せています。

家族・社員に感謝の心を込めて

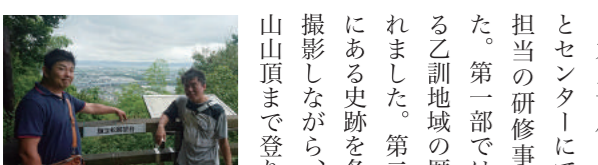
九月二十五日(日)公益財団法人青少年野外活動センターにて、



渉外交流委員会担当の家族・社員交流会が開催されました。子ども達も楽しめるカプセル探しゲームやメンバーがご家族や従業員の皆様に日頃なかなか伝える事の出来ない感謝の気持ちや、感動の言葉を伝えるなど、感動の空気に包まれました。

真のリーダーへと成長すると共に

郷土愛を育む為に



九月十八日(日) 大山崎ふるさとセンターにて、資質向上委員会担当の研修事業が開催されました。第一部では、日頃より活動する乙訓地域の歴史や文化を説明されました。第二部では、乙訓地域にある史跡を各委員会に分かれて撮影しながら、最終到着地の天王山山頂まで登りました。地域に貢献出来る真のリーダーへと成長すると共に郷土愛を育む為に、全員が最後まで登り切る事が出来ました。

京都ブロック防災セミナー

九月十九日(月)、ハピネス福知山にて、京都ブロック協議会の事務局が担当される



防災セミナー『我々に何が出来る?もしもじゃないよ。いつもだよ。』が開催されました。

この防災セミナーを通して、一人ひとりが災害を身近な事と捉え、行政や諸団体との連携方法や、自らの命や、大切な人達を守る為に必要な防災の重要性を改めて感じる事が出来た事業となりました。